

竹富島で会いましょう

本調子

2/2

一、旅を続けていればこそ
いつかもう一度会えるはず

白いサンゴの一本道は

星の砂へと続く道

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

二、時は流れているものを

刻むからこそ無理も出る

船に揺られて釣り糸垂らせば

釣れた魚は空の色

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

三、夕日待つ様な赤瓦

恋を伝えるミンサー帯

誰を待ちましょうコンドイ浜で

浅い眠りで夢の中

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

四、かわす言葉も日焼けして

島のなまりがかわいい人

並ぶ石垣福木の影で

聴いた鳥唄忘れぬ

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

五、昔大和の今東京

距離は呼び名で変わるもの

年に一度の種取り祭り

種をまきましよう胸の中

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又

竹富島で会いましょう

サーツンダラカ又シヤマ

マータハリ又